

TAKEUCHI

**2015年2月期
決算説明資料**

2015年4月22日

「世界初から世界の**TAKEUCHI**へ」

株式会社 竹内製作所

証券コード:6432

- ▶ **I. 15年2月期 決算概要**
- ▶ **II. 16年2月期 見通し**
- ▶ **III. 市場見通し**
- ▶ **IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み**

▶▶ ポイント

(1) 需要は米国・欧州ともに増加

- 米国の販売台数は20.8%増加
- 欧州は回復し、販売台数は33.1%増加
- 連結売上高は30.4%増収
- 想定以上に欧州地域の販売が好調に推移

(2) 数量効果と円安効果、コスト削減で営業利益率が改善

- 数量効果と円安効果及びコスト削減で粗利益率は6.4ポイント向上
- 営業利益は138.8%増益

I. 15年2月期 決算概要

TAKEUCHI

▶▶ 連結実績

単位:百万円

	15/2期 実績	14/2期 実績	前年比 伸び率	15/2期 2Q時予想	対2Q予想 増減額
売上高	69,893	53,617	+30.4%	67,000	+2,893
営業利益	10,593	4,436	+138.8%	9,640	+953
経常利益	12,249	6,470	+89.3%	9,640	+2,609
当期利益	7,694	4,624	+66.4%	5,910	+1,784
1株配当金	27.0円 (内記念配5円)	16.0円 (内記念配3円)	+11.0円	22.0円	+5.0円
設備投資額	838	320	+161.9%		
減価償却費	996	765	+30.2%		
受注高	75,376	58,807	+28.2%		
受注残高	19,508	14,025	+39.1%		

▶▶ 四半期毎の売上高・営業利益推移

単位：百万円



為替レート	2013年2月期				2014年2月期				2015年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
円/米ドル	81.34	78.86	78.64	86.36	94.51	99.37	98.21	103.27	102.47	101.97	107.76	118.73
円/英ポンド	129.97	122.64	125.56	137.98	145.34	151.64	156.80	170.00	171.43	171.88	174.58	184.65
円/ユーロ	108.56	97.42	100.75	118.33	123.08	130.47	132.25	141.04	141.13	138.29	137.70	140.68
円/人民元	12.66	12.65	12.32	13.30	14.90	16.15	16.02	16.80	16.78	16.33	17.09	18.82

▶▶ 地域別売上高

単位:百万円

	15/2期		14/2期		前年比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
日 本	1,549	2.2%	2,640	4.9%	▲1,091
北 米	31,094	44.5%	23,139	43.2%	+7,955
欧 州	33,431	47.8%	23,609	44.0%	+9,822
ア ジ ア	1,742	2.5%	2,586	4.8%	▲844
そ の 他	2,075	3.0%	1,641	3.1%	+434
売 上 高	69,893	100.0%	53,617	100.0%	+16,276
海 外 売 上 高	68,343	97.8%	50,977	95.1%	+17,367

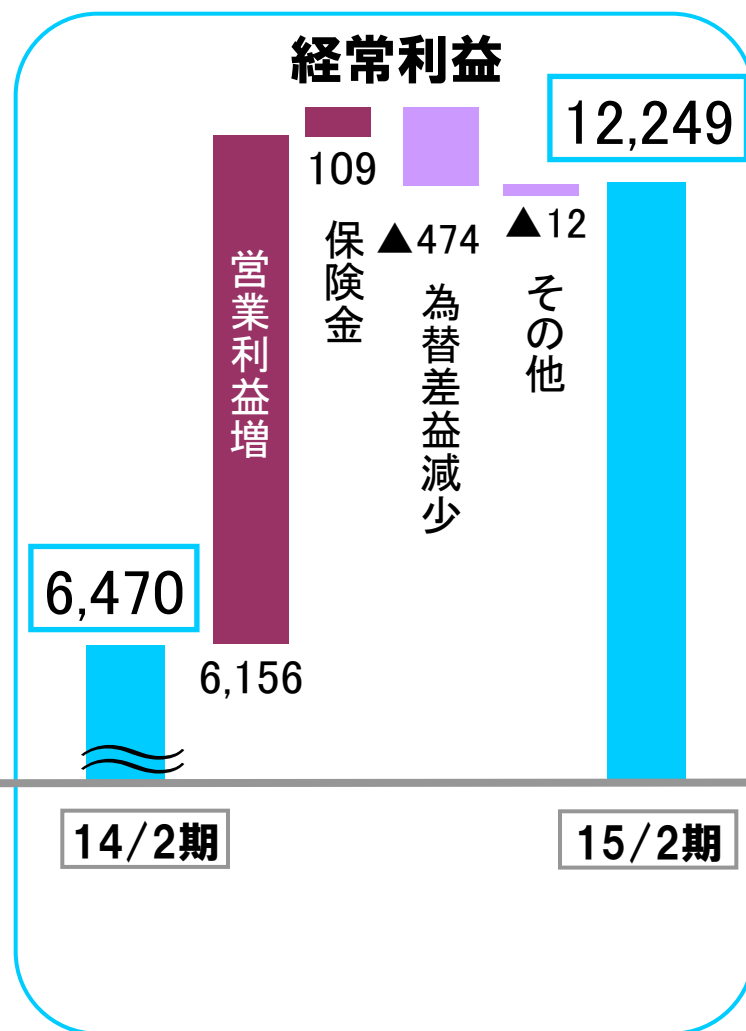
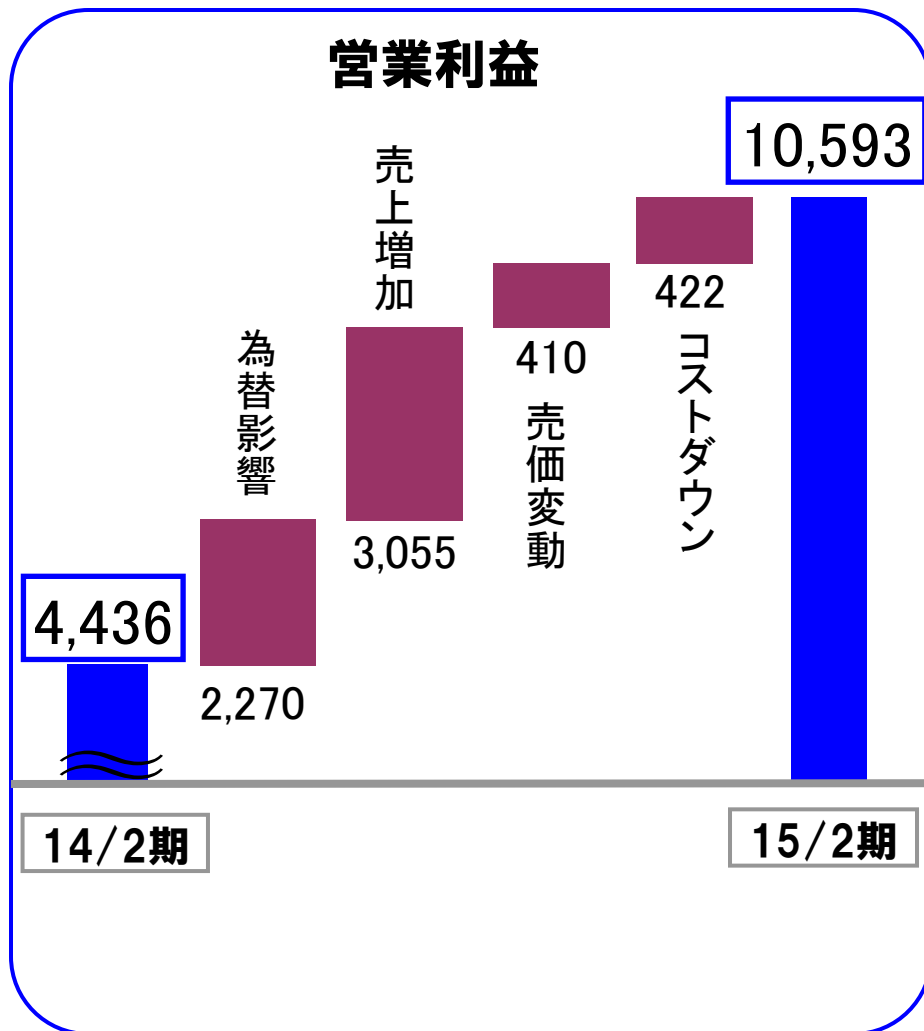
▶▶ 所在地別セグメント情報

単位:百万円

		15/2期	14/2期	前年比 増減額
日 本	売 上 高	25,682	19,616	+6,066
	セグメント利益	11,585	5,410	+6,175
米 国	売 上 高	31,150	23,163	+7,987
	セグメント利益	1,809	741	+1,068
英 国	売 上 高	8,556	5,411	+3,145
	セグメント利益	456	197	+259
フランス	売 上 高	2,935	2,868	+67
	セグメント利益	127	27	+100
中 国	売 上 高	1,568	2,558	▲990
	セグメント利益	▲265	▲77	▲188

▶▶ 連結損益増減要因

単位:百万円



I. 15年2月期 決算概要

TAKEUCHI

▶▶ 連結貸借対照表

単位:百万円

	15/2月末	構成比	14/2月末	構成比	増減額
流動資産	57,750	87.1%	44,574	84.9%	+13,176
現金及び預金	13,809		9,734		+4,075
受取手形及び売掛金	19,448		17,872		+1,576
たな卸資産	20,790		15,246		+5,544
固定資産	8,561	12.9%	7,898	15.1%	+663
資産合計	66,311	100.0%	52,472	100.0%	+13,839
流動負債	19,469	29.4%	14,874	28.3%	+4,595
支払手形及び買掛金	11,878		10,317		+1,561
短期借入金(1年内長期含む)	-		300		▲300
固定負債	749	1.1%	665	1.3%	+84
負債合計	20,218	30.5%	15,540	29.6%	+4,678
純資産合計	46,093	69.5%	36,931	70.4%	+9,162
負債純資産合計	66,311	100.0%	52,472	100.0%	+13,839

▶▶ 連結キャッシュフロー計算書

単位:百万円

	15/2期	14/2期
営業キャッシュフロー	5,696	8,207
投資キャッシュフロー	▲1,035	▲386
財務キャッシュフロー	▲576	▲1,488
現金及び同等物に係る換算差額	7	▲481
現金及び同等物の増減額	4,091	5,851
現金及び同等物の期末残高	13,231	9,139

▶▶ 業績見通しのポイント

(1) 需要動向

- 米国市場は、住宅投資の改善続き、需要増加を予想
- 欧州市場は、輸出が伸び悩むことから経済が低成長となり、需要は横ばいを予想
- 新興国市場では中国は減少、その他地域は概ね横ばい

(2) 販売台数の見通し

- 販売台数は3.3%増加

(3) 利益見通し

- 販売台数増加、円安、コスト削減浸透で粗利益率は1.2ポイント向上
- 営業利益は、18.0%増益の予想

II. 16年2月期の見通しについて

▶▶ 地域別売上高予想

単位:百万円

	16/2期		15/2期		前年比 増減額
	予想	構成比	実績	構成比	
日 本	1,860	2.5%	1,549	2.2%	+310
北 米	35,840	47.8%	31,094	44.5%	+4,746
欧 州	33,500	44.7%	33,431	47.8%	+69
ア ジ ア	1,500	2.0%	1,742	2.5%	▲243
そ の 他	2,300	3.0%	2,075	3.0%	+224
売 上 高	75,000	100.0%	69,893	100.0%	+5,106

II. 16年2月期の見通しについて

▶▶ 連結業績

単位：百万円

	16/2期予想				15/2期
	通期予想	伸び率	上期予想	下期予想	実績
売上高	75,000	+7.3%	42,700	32,300	69,893
営業利益	12,500	+18.0%	7,800	4,700	10,593
経常利益	12,500	+2.0%	7,800	4,700	12,249
当期利益	7,900	+2.7%	4,950	2,950	7,694
設備投資額	3,234	+285.6%	920	2,314	838
減価償却費	1,084	+8.8%	430	654	996

為替レート	通期前提	15/2期実績
円／米ドル	115.0	108.42
円／英ポンド	173.0	174.79
円／ユーロ	125.0	139.74
円／人民元	18.5	17.26

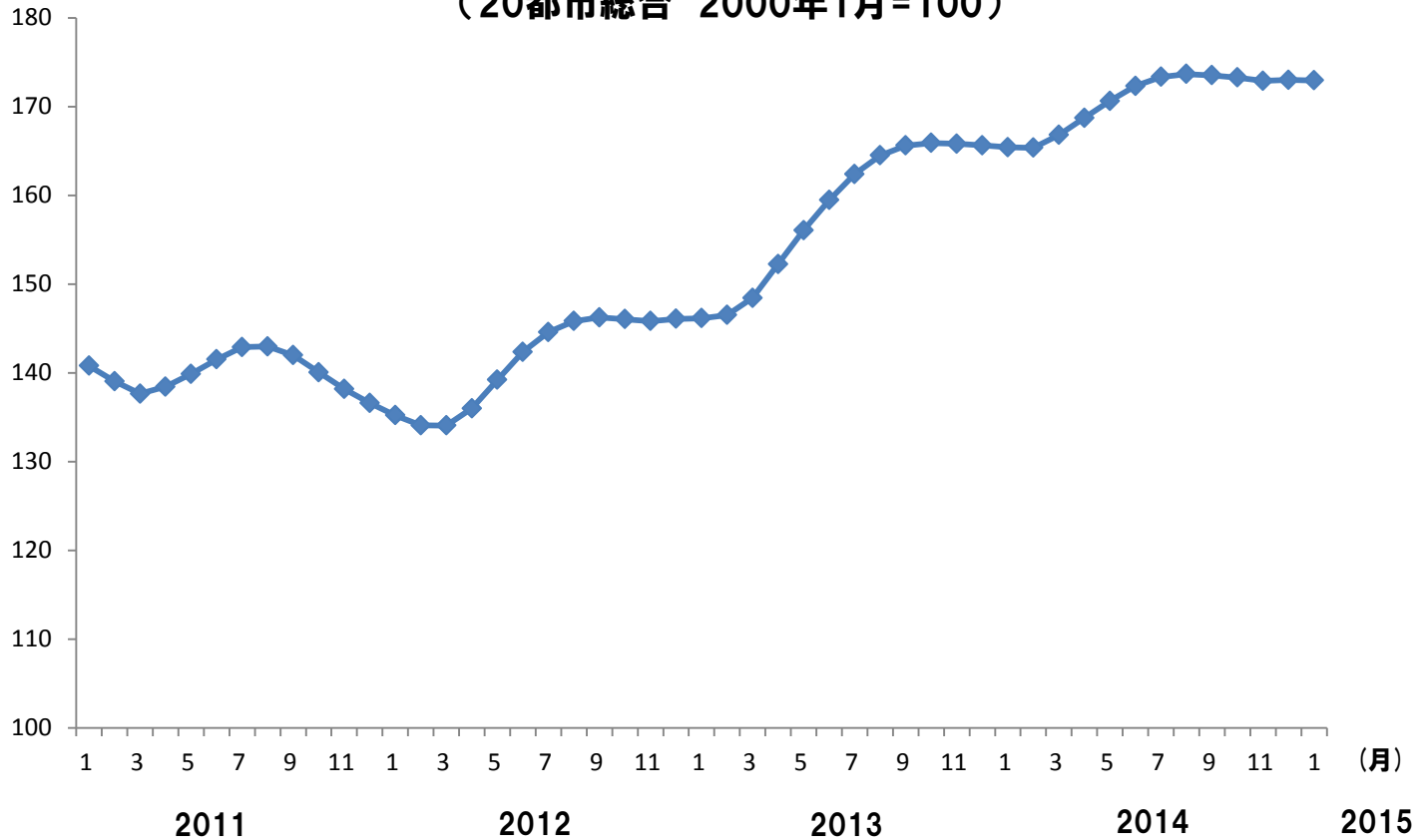
沿革

- 平成14年12月 **JASDAQ市場に株式を上場**
- 平成15年 8月 1単元株の数を1,000株から100株に変更
- 平成16年11月 当社株式が「J-Stock」銘柄に選定
- 平成17年 3月 村上第2工場完成 操業開始
- 4月 中国青島市に竹内工程機械(青島)有限公司を設立
- 平成18年 3月 普通株式 1株につき 2株の割合をもって分割する
- 3月 仏国竹内 業務拡大のため移転
- 8月 米国竹内 業務拡大のため移転
- 8月 村上工場にパーツセンター完成
- 平成20年 9月 英国竹内 業務拡大のため移転
- 平成25年 8月 創立50周年
- 平成26年 4月 建設機械の国内累計生産台数25万台達成
- 平成27年 1月 新基幹システム稼動開始
- 平成27年 3月 **東証一部に市場変更**



▶▶ 米国の住宅投資環境

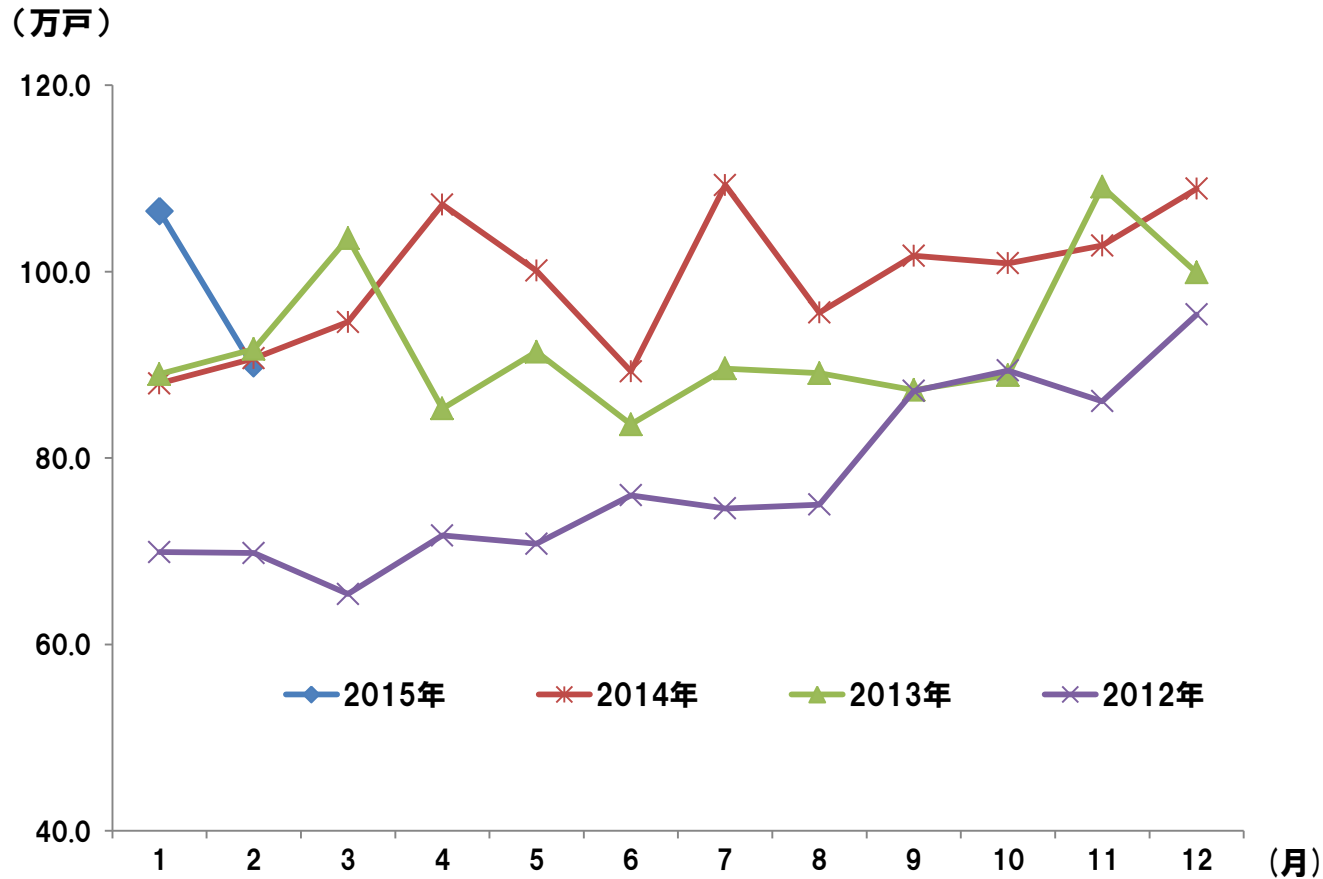
S&Pケース・シラー住宅価格指数 (20都市総合 2000年1月=100)



(出所)S&P

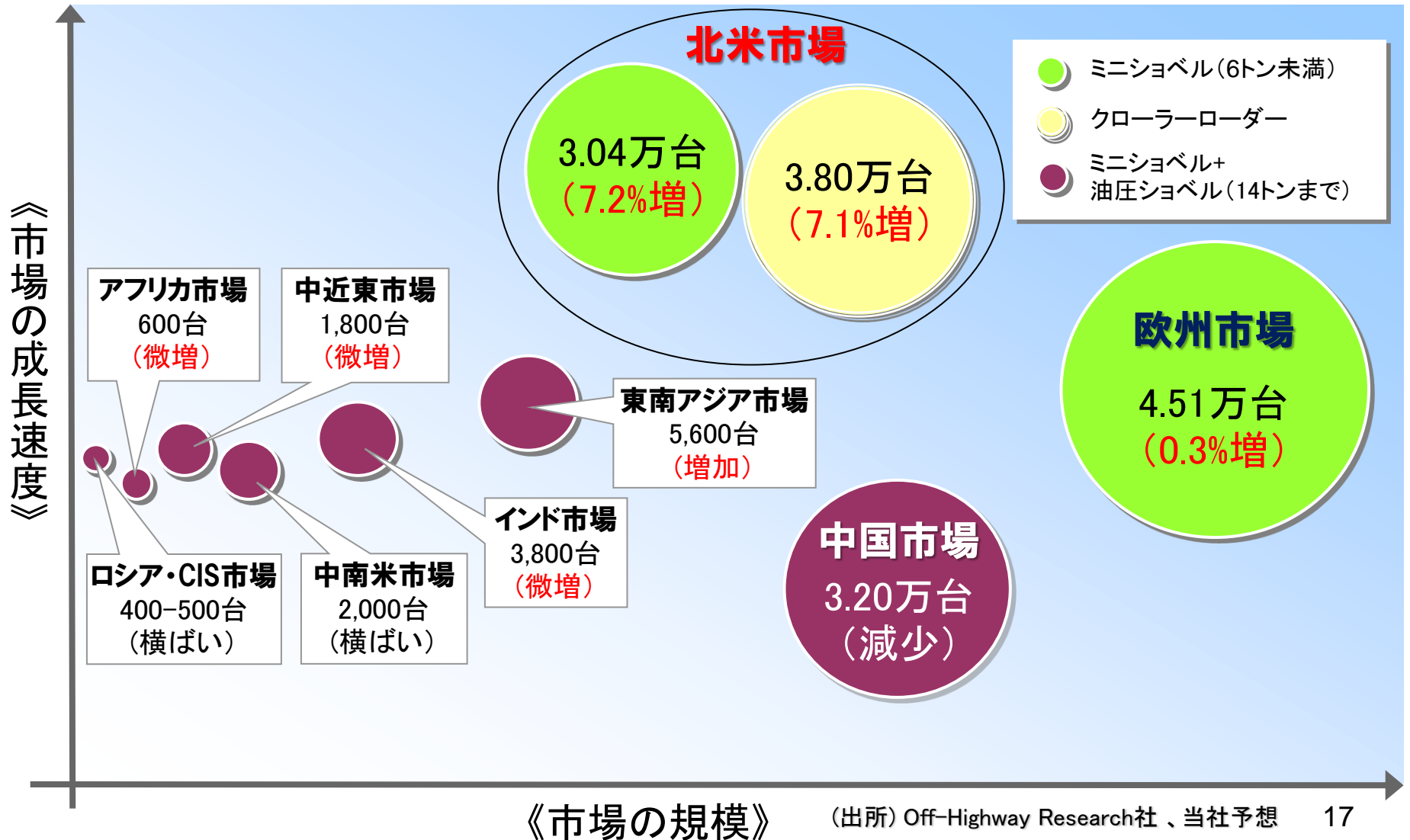
▶▶ 現況: 堅調な米国の住宅建設

住宅着工件数推移(季節調整済)

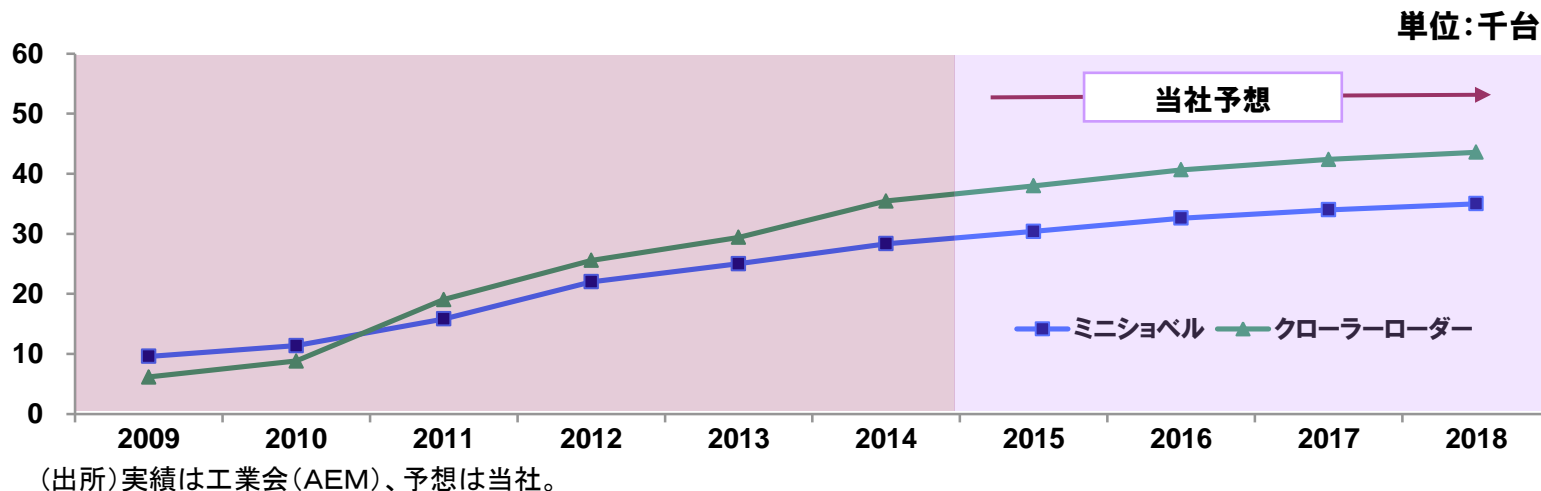


(出所)米国商務省

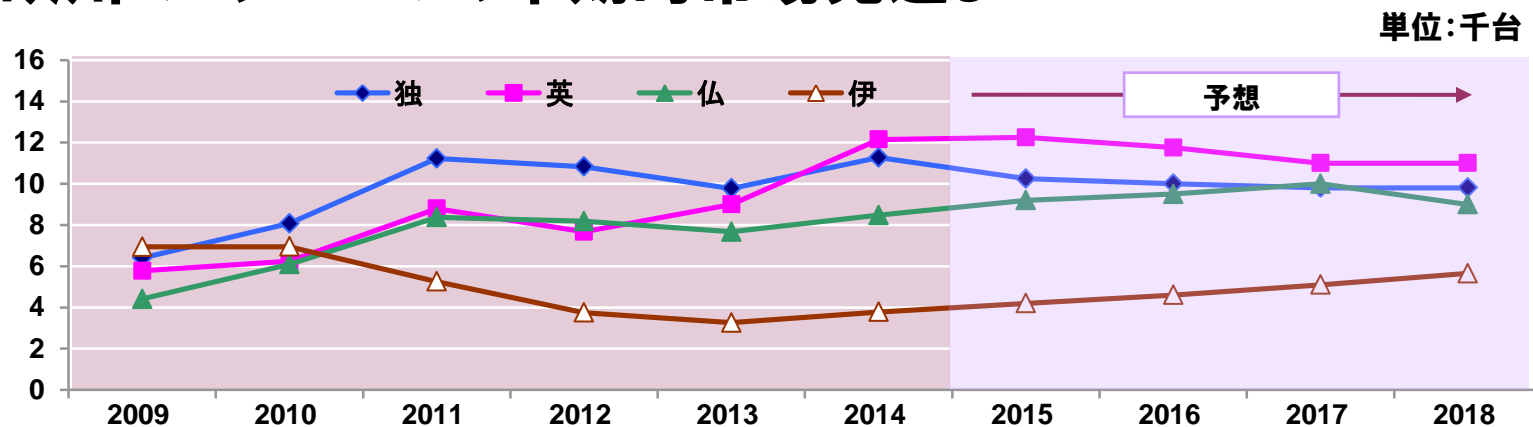
▶▶ 2015年の市場見通し概観 (カッコ内は前年比伸び率)



▶▶ 北米ミニショベル・クローラーローダーの中期市場見通し



▶▶ 欧州ミニショベルの中期市場見通し



▶▶ 中長期的な経営戦略

- 製品開発強化
- 新興国市場開拓
- 部品販売強化
- 生産能力増強(新工場建設と生産効率向上)

IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み

1. 開発戦略（製品開発の強化）

- 新機種の開発、モデルチェンジ
 - ・1トンクラスの後方小旋回機の販売開始
 - ・クローラーローダーの製品ラインアップ強化
- 出力帯別規制に合わせた第4次排気ガス規制対応



モデルチェンジ
TL8

2014/3
発売



新機種
TB230

2014/7
発売



新機種
TB240

2014/8
発売

2. 販売戦略

(1) 先進国市場対応

- ・製品ラインアップの強化とディーラー網の拡充

(2) 新興国市場開拓

- ① 重点地域(東南アジア、中東、南米、アフリカ)
- ② サービストレーニングの強化

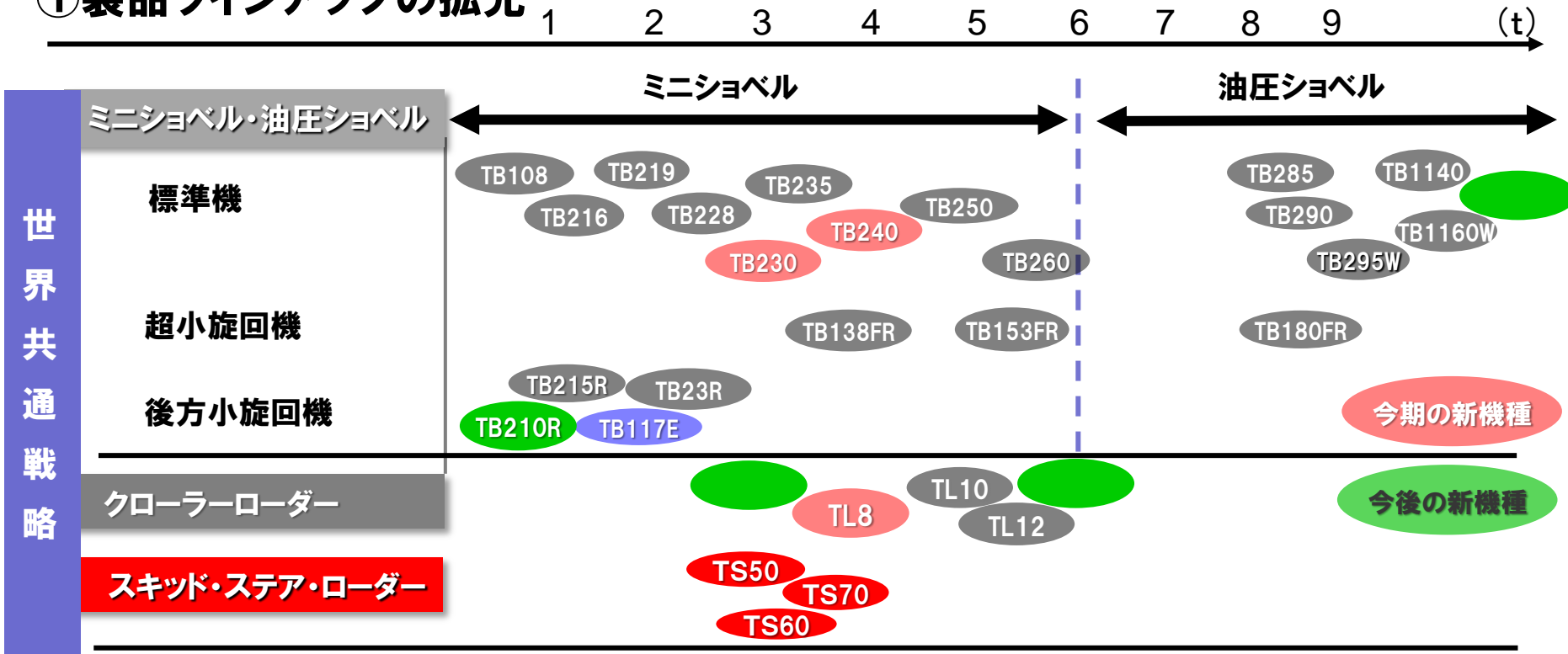
(3) 補修部品の販売強化

- ・第2純正部品の拡大など補修部品の販売強化

IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み

(1) 先進国販売戦略

① 製品ラインアップの拡充

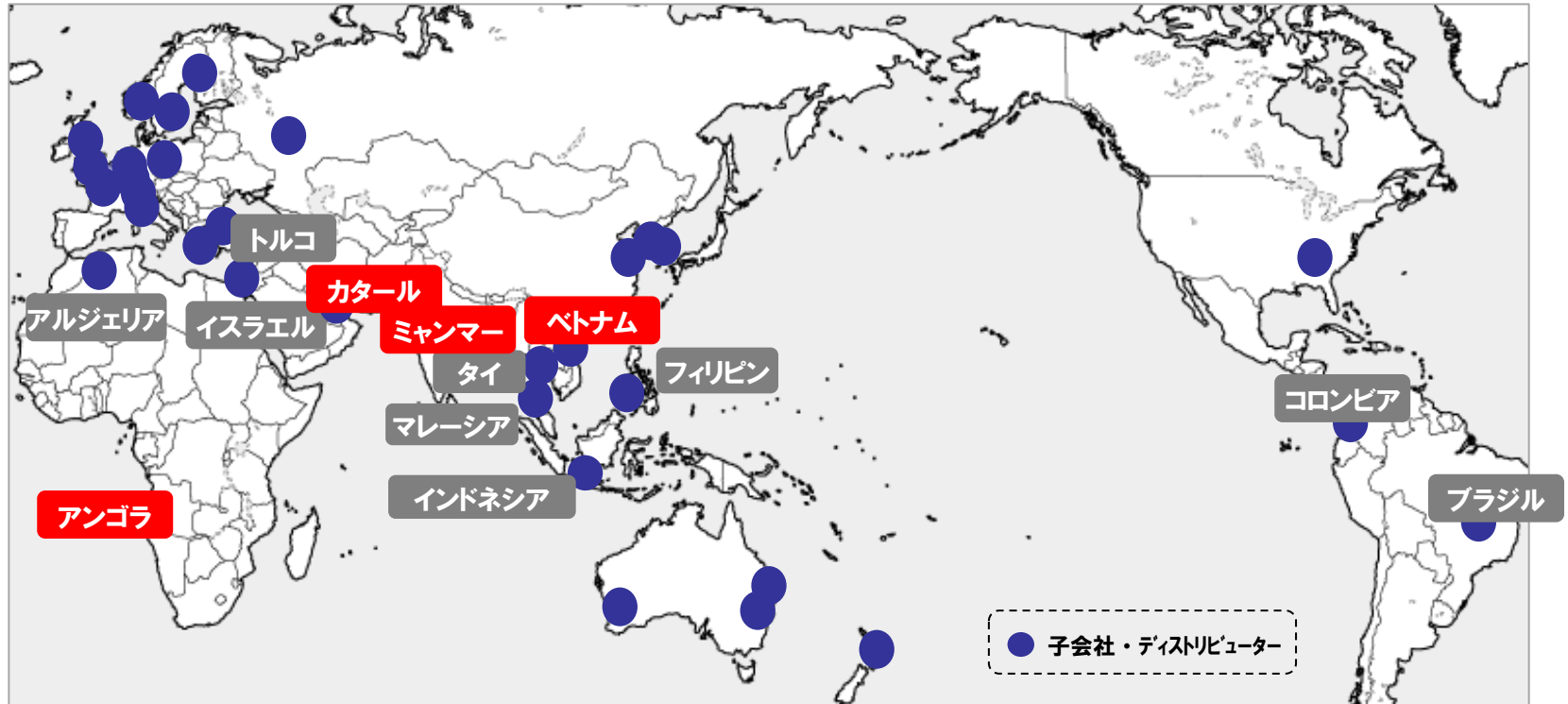


② ディーラー網の拡充(米国)

- ・15/2期は小規模ディーラーを規模の大きなディーラーへの切り替えを推進し、ロケーション数は6%増加(対前年比)

IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み **TAKEUCHI**

(2) 新興国の開拓状況



(3) 補修部品の販売強化策の成果

・部品売上高は、23.8%増加(対前年同期比)

IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み **TAKEUCHI**

3. 生産能力増強(生産性向上と新工場建設)

既存工場の生産性向上

村上工場:加工設備更新、機械稼働率向上

戸倉工場:溶断能力向上、内作取込みによる付加価値増加

[導入例]

【村上工場】

【戸倉工場】



対向機



横形マシニング
センター



レーザー加工機



プレス機

青島工場:村上工場への部品納入拠点として活用
製缶品5品種(12/2期)→30品種(15/2期)

新工場建設



(イメージ図)

村上第三工場(仮称)

工事着工：平成27年4月

工場竣工予定：平成28年2月

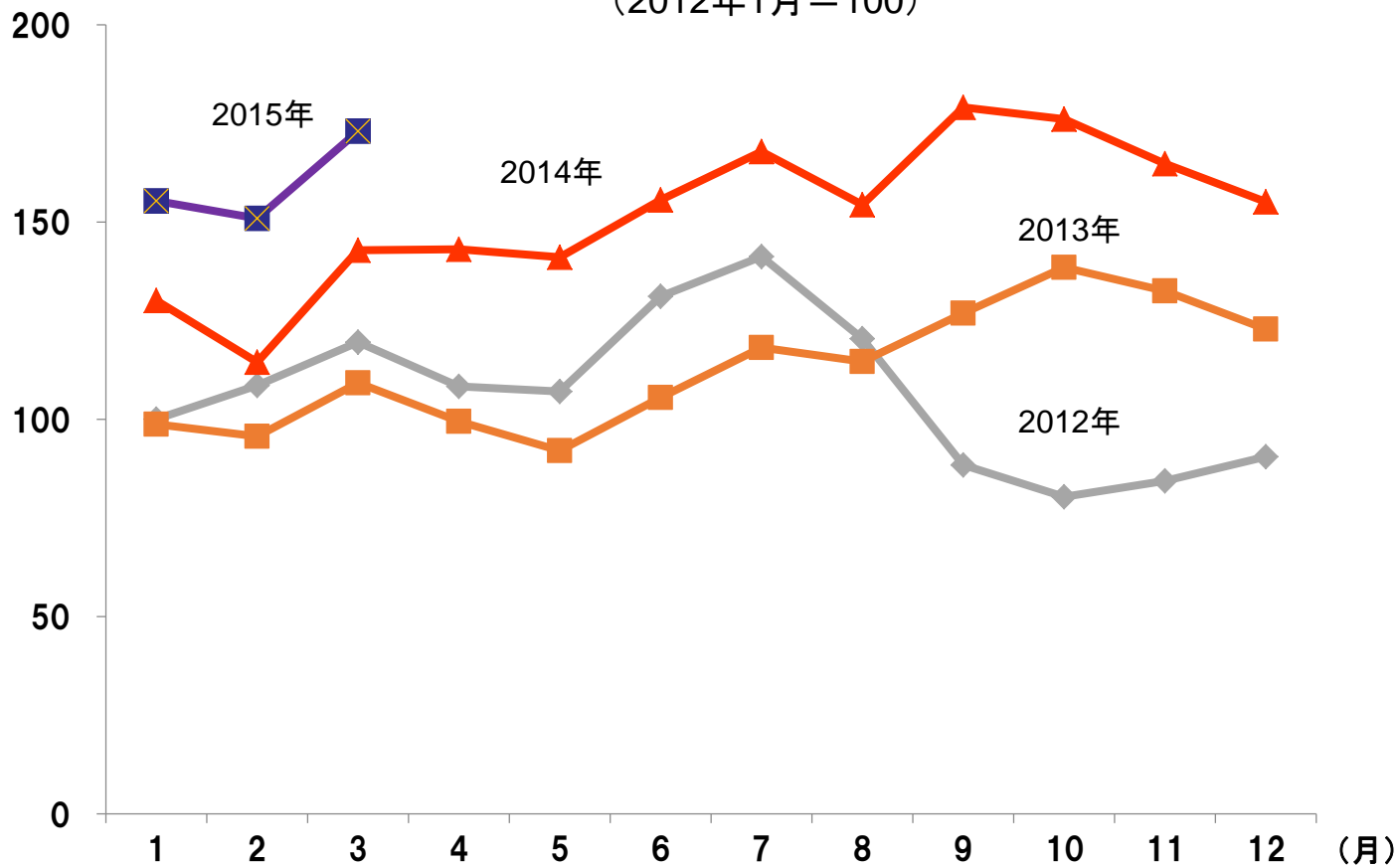
総投資額：22億円

〈国内製造拠点〉



月別生産台数推移

(2012年1月=100)



お問い合わせ先

株式会社 竹内製作所
経営管理部(IR担当)

TEL:0268-81-1100

FAX:0268-81-1127

E-mail: ir@takeuchi-mfg.com

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。